

第38期 決算公告

奈良市南京終町一丁目93番地の2
南都コンピュータサービス株式会社
代表取締役社長 西岡 英俊

貸借対照表

(2024年 3月31日 現在) (単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I. 流 動 資 産	803,470,364	I. 流 動 負 債	75,603,497
現金及び預金	701,760,293	買掛金	3,553,493
売掛金	95,933,790	未払金	0
未成業務支出金	582,274	前受金	0
商 品	1,891,520	前受収益	0
原 材 料	367,890	未払費用	9,741,671
未収入金	0	未払賞与	39,062,442
未収還付法人税等	0	預り金	2,055,191
前渡金	0	仮受金	0
前払費用	1,963,368	未払法人税等	12,041,000
仮払金	971,229	未払消費税	9,149,700
		リース債務	0
		仮受消費税	0
II. 固 定 資 産	193,296,523		
有形固定資産	35,545,050	II. 固 定 負 債	270,525,336
建物附属設備	257,964	退職給付引当金	270,525,336
機械及び装置	35,261,890	リース債務	0
車両運搬具	0		
工具器具備品	25,196	負債合計	346,128,833
リース資産	0	純 資 産 の 部	
建設仮勘定	0	I. 株主資本	650,638,054
無形固定資産	39,274,290	資本金	10,000,000
電話加入権	504,000	利益剰余金	993,038,054
ソフトウェア	38,770,290	利益準備金	2,500,000
ソフトウェア仮勘定	0	その他利益剰余金	990,538,054
投資その他の資産	118,477,183	(繰越利益剰余金)	990,538,054
差入保証金	1,000,000	自己株式	-352,400,000
長期前払費用	10,588,682	純 資 産 合 計	650,638,054
繰延税金資産	106,888,501	負債及び純資産合計	996,766,887
資 産 合 計	996,766,887		

個 別 注 記 表

○ 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価の方法

- (1) 棚卸資産
 - ・商品 先入先出法による原価法
 - ・原材料 先入先出法による原価法
- (2) 有価証券
移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産（リース資産を除く）
建物、建物附属設備及び構築物の減価償却は定額法、その他の有形固定資産の減価償却は、定率法による。
- (2) 無形固定資産（リース資産を除く）
無形固定資産のソフトウェア償却は、定額法による。
なお、自社利用のソフトウェアについては、当社で定める利用可能期間（5年）に基づいて償却する。
- (3) リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る「有形固定資産」及び「無形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とした定額法による。なお、残存価格については、リース契約上に残価保証の取決めがあるものは当該残価保証額とし、それ以外のものは零とする。

3. 重要な引当金の計上方法

退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、必要額を計上する。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理方法は、税抜方式を採用する。

5. リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年4月1日前に開始する事業年度に属するものについては、通常の賃貸借取引に準じた会計処理による。

○ 貸借対照表に関する注記

- 1. 減価償却累計額 28,742,451円

- 2. 貸借対照表に計上した車両運搬具については、リース契約により使用しております。

○ 損益計算書に関する注記

- 1. 一株当たり当期純利益 233,071円42銭

○ 株主資本等変動計算書に関する注記

- 1. 当該事業年度の末日における発行済株式の総数
普通株式 200株
- 2. 当該事業年度の末日における自己株式の数
普通株式 80株
- 3. 当該事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項
配当財産の種類 金銭
配当財産の帳簿価格 5,000,000円

- 当期純利益 27,968,571円